



福岡県医発第 2968 号 (地)

平成 27 年 2 月 4 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

福岡県地域がん登録届出票記入要領について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、「地域がん登録」につきましては、平成 25 年 12 月に公布されました「がん登録等の推進に関する法律」(平成 26 年 1 月 10 日付け福岡県医発第 2409 号(地)にて通知)により、平成 28 年 1 月 1 日(施行予定)からは、がんを診療する病院(診療所は手上げ方式)は、届出の義務が課されることとなる旨、先般、貴職宛にご連絡申し上げたところです。

今般、本県の地域がん登録室である福岡県保健環境研究所において、「福岡県地域がん登録届出票記入要領」が改正された旨、別添のとおり福岡県保健医療介護部健康増進課より通知が参りました。

つきましては、貴会におかれましても本件にご了知くださいますようお願い申し上げます。

なお、本要領は、福岡県庁ホームページにも掲載されておりますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 白石恒明
会長 廣瀬真恵

公印省略

26健第 4945 号
平成27年1月29日

公益社団法人福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課長

福岡県地域がん登録届出票記入要領について

このことについて、本県の地域がん登録室である保健環境研究所において、別添のとおり改訂いたしましたので送付します。

下記のとおり、本県ホームページにも掲載しておりますのでお知らせします。

記

ホームページアドレス

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/chiikigan.html>

各医師会通知



福岡県地域がん登録届出票記入要領

2015年1月

福岡県保健医療介護部

— 目 次 —

記入事例	．．．．． 2
届出票記載についての注意	．．．．． 3
各項目の記載要領	．．．．． 4
参考資料	
1. 「部位」の記載例	．．．．． 7
2. 「病理診断名」の記載例	．．．．． 13

記入例

福岡県悪性新生物患者届出票 秘

事務局 使用欄		受付番号		使 事 用 務 局
		受付年月日		
医療機関※	名称 福岡〇〇病院		照会先所属 外科	届出者 福岡 太郎
貴院患者ID	111111		性別※	生年月日※
姓・名※ (漢字)	博多	花子	1 男 ②女 3 他	①西暦 1 明治 2 大正1950年 〇月 × 日 3 昭和 4 平成
診断時住所※	〇〇市△△町1番1号			
診断名※	左右 両側臓器のみ記載	①右 2 左 9 不明 3 両側 (卵巣、腎芽腫、網膜芽腫) (例 胃U、肺S2、など)	病 理 診 断 名 詳細をお願いします	Invasive ductal carcinoma. Scirrhus type.
	部位 臓器名と詳細部位	乳房外上部 (「乳房C領域」でも可) 悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載		
診 断 情 報※	初発・ 治療開始後	①初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降) ・再発		
	診 断 根 拠 (複数回答可)	①原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 6 臨床診断 患者の全経過を通じて、 んと診断する根拠となっ た検査に〇 (初回治療前 の診断に限定しない)		
	診 断 日	自施設 診断日	①西暦 1 昭和 2011年 1 月 15 日 2 平成	
		初回 診断日	①西暦 1 昭和 2011年 1 月 5 日 2 平成	
	発 見 経 緯	①がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 自覚症状・その他・不明		
病 期※ ・手術施行の場合 術後評価を優先 ・術前化学・放射 線治療後手術の場 合は治療前評価 を優先 再発では記載不要	病巣の拡がり	0 上皮内 1 限局 ②所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明 初発の場合、病巣の拡がりか UICC TNMのどちらかは必ず記入		
	UICC TNM*	T 2 N 1 M 0 ステージ IIB (地域がん登録では病巣の拡がりを集計する。病巣の拡がりに記入がなければTNM分類やその他の情報からコード化する。)		
	その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。 腫瘍径23mm		
初回治療 貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください。 再発では記載不要	観 血 的 治 療	手術	①有 2 無	
		体腔鏡的	1 有 ②無	
		内視鏡的	1 有 ②無	
		観血的治療を総合した治療結果	原発巣切除 ①治療切除 2 非治療切除 3治療度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳	
	そ の 他 の 治 療	放射線	1 有 ②無	
		化学療法	①有 2 無	
		免疫療法	1 有 ②無	
		内分泌療法	1 有 ②無	
	その他	1 有 () ②無		
死 亡 年 月 日	〇 西暦 年 月 日 1 平成			
オプション (自由記載欄)	前医にて生検で乳がんと診断され、精査・加療目的にて当院紹介となる。 術後補助療法として化学療法を施行中である。			

※の項目は、必ずご記入ください。

◎各項目の記載については、p 4からの各項目詳細要領をご参照ください。

届出票記載についての注意

◆ 届出対象者・対象疾患

1. 届出対象者：診断時に福岡県内に居住している方
2. 対象疾患：（１）上皮内がんを含む全悪性新生物（癌、肉腫、悪性腫瘍、白血病、リンパ腫等で、転移性・再発を除く）
（２）頭蓋内の新生物（良性・悪性、性状不詳のものも含む）

※確定診断された症例で、疑い症例は除きます。

◆ 届出票作成時期

- * 1 腫瘍につき 1 枚の届出票の作成と提出をお願いします。
- * 患者の初回治療が終了した時点を、届出票作成時期の原則とします。
- * 初回治療が長期に渡る場合は、当該新生物の診断から 6 ヶ月以内、また遅くとも 1 年以内を目安に提出して下さい。

【届出票作成時期の目安】

1. 入院患者の場合（１）初回治療が終了して退院したとき
（２）入院期間が 6 ヶ月を超えた時
2. 外来患者の場合（１）がんと確定診断し、外来手術を実施したとき
（２）がんと確定診断し、外来手術以外の治療を実施したとき
3. 初回治療の継続のために、他院に紹介した時点（すでに届出を行っている場合を除く）
4. 他施設で初回治療が完了した後、自施設で当該新生物に関わる診療をした場合（再発を含む）
→自施設診療を開始したとき
5. がん患者が死亡したとき（罹患時に届出を行っている場合を除く）

◆ ご記入いただくにあたり、ご留意いただくこと

1. 様式は、福岡県地域がん登録に関する情報のホームページからダウンロードしてお使い下さい。様式に必要事項を入力し、印刷してご提出いただくことも可能です。
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/chiikigan.html>
2. 手書きの場合は楷書で、黒インクまたは黒のボールペンにてご記入下さい。
3. 必須項目をはじめ、漏れなくご記入いただきますようお願いします。選択肢では、該当する番号に○をお付けください。「不明」の場合は、その旨ご記入をお願いします。
4. 診断日についてはがん登録特有のルールがありますので、記載要領を必ずご確認ください。
5. 「部位」・「病理診断名」などについては、参考資料をご参照ください。

「届出票記載・届出方法」に関するお問い合わせ先

福岡県保健環境研究所 企画情報管理課 地域がん登録担当
電話 092-921-9941（平日 8 時 30 分～17 時 15 分）
FAX 092-928-1203（届出票の FAX 受付は行いません）

「地域がん登録」に関するお問い合わせ先

福岡県保健医療介護部 健康増進課 保健事業係
電話 092-643-3270（平日 8 時 30 分～17 時 15 分）
FAX 092-643-3271

各項目の記載要領

医療機関	自施設名称。正式名称記入が望ましい（ゴム印でも可）。照会先所属、届出者は問い合わせに使用。
貴院患者ID	貴院で患者固有に与えられているID番号やカルテ番号など。患者情報照会時に使用します。
姓・名 （漢字）	姓と名を別々に漢字表記（楷書）で記入。重複登録を防ぐ大事な項目のため、イニシャル、カタカナ等の略記は避け、 本名を記入 。ただし、 漢字表記できない外国名の場合はカタカナ表記 とします。
性別	性別について、該当する番号を○で囲んでください。
生年月日	生年月日を記入。西暦・和暦（元号） どちらでも記入可です 。該当する番号を○で囲んでください。
診断時住所	診断時に居住していた住所。市町村だけでなく、マンション・部屋番号までの できるだけ詳細な住所 を記入。 受診のため仮にまたは一時的に滞在している場合は、本来の住所を記入ください 。

診断名

側性：左右	原発部位が両側臓器（肺・乳房等側性のある臓器）の場合のみ該当する番号を○で囲んでください。「両側」は卵巣・腎芽腫（ウィルムス腫瘍）・網膜芽細胞腫のいずれかで、左右同時に腫瘍が認められた場合のみ選択可能です。その他の側性を有する臓器において、 一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入ください 。一方が他方の転移の場合は、原発側のみ届出票を作成してください。 原発側が判断されない場合は左右は「不明」とします 。
部位	腫瘍の原発部位を、 できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入 。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位（例：「肺左上葉」、「結腸脾彎曲部」等）を記入してください。 転移性がんの場合は、原発臓器 （例：食道がんの肺転移の場合は、転移部位の「肺」ではなく、「食道」）を記入し、 原発が不明な場合は「原発不明」とします 。 白血病の場合、診断部位は「骨髓」とし、病理診断名に「急性骨髄性白血病 M2」等と記入。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変の部位とし （例：胃の悪性リンパ腫の場合は、「胃」を記入）、 詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入 。がん登録では、「国際疾病分類－腫瘍学（ICD-0）」を用いるのが世界基準のため、登録室では原発部位情報をICD-0-T（Topography：局在部位）に基づいてコーディングしています。
病理診断名	腫瘍の病理診断名について、 できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入ください 。 <u>可能な範囲で、腫瘍の形状、腫瘍の性状(悪性、上皮内、良性、良悪不詳等)、及び分化度(高・中・低・未分化) / リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原(T-cell, B-cell, Null-cell)等を詳細に記入して下さい</u> 。登録室では病理診断名をICD-0-M（Morphology：形態）を用いて6桁の数字でコーディングしています。 ・治療前の生検による診断と術後病理診断が異なる場合は、術後病理診断を優先して記入ください。 ・他施設で病理診断（組織診・細胞診）が実施された場合、わかる範囲で記入ください。

診断情報

初発・治療開始後	初発、治療開始後・再発を区別するための項目です。該当する番号を○で囲んでください。 1.初発：自施設において当該腫瘍の診断や初回治療を実施した場合、あるいは他施設で診断され自施設で初回治療を実施した場合 2.治療開始後・再発：他施設での初回治療を引き継いだ場合、あるいはそれが完了した患者を診療した場合（再発を含みます）。
----------	---

診断根拠	当該腫瘍の確定診断において、初診時だけでなく、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定せず、他施設における診断情報も含む）。該当する検査番号の一番小さい方（番号）を優先して○で囲んでください。複数回答も可。 1.原発巣の組織診：原発巣からの病理組織診断によるがんの診断、白血病の骨髓穿刺を含む。 2.転移巣の組織診：転移巣からの病理組織診断によるがんの診断。 3.細胞診：喀痰、尿沈渣、腔分泌物等による剥離細胞診、ファイバースコープ等による擦過、吸引細胞診、あるいは洗浄細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項を含む。 4.部位特異的な腫瘍マーカー：PSA、AFP、HCG、HVA、VMA、血清・尿中免疫グロブリン高値など。 5.臨床検査：画像診断（特殊撮影、造影全て。MRI、RI 検査、PET、超音波検査を含む。）、組織診・細胞診を伴わない手術・体腔鏡下の肉眼的診断、試験開腹・開胸・解剖を含む。 6.臨床診断：上記検査・診断を伴わない視触診等。
------	---

自施設診断日	自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入してください。 診断根拠で1～3を選択：検体採取日 診断根拠で4～5を選択：検査日 診断根拠で6を選択：入院日または初診日 前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、自施設の当該腫瘍初診日を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とします。いずれの場合でも必ずご記入下さい。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。年月日まで記入ください。
--------	--

初回診断日	前医・他施設において、再発・治療後など、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において初発時の当該腫瘍の初回治療前に”がん”と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入（例：4月上旬、4月頃、春頃、2013年頃等）。検査日等が不明の場合は、「腫瘍のための入院日」「外来のみでは腫瘍のための初診日」などを診断日として記入ください。
-------	---

発見経緯	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です、番号を○で囲んでください。 「1がん検診」：がんの早期発見・早期治療を目的とした、一連の定型的な検査を行った場合。 「2健診・人間ドック」：健診は健康一般に関する審査（健康尺度の測定）を目的とし、一連の検査を行う場合で、人間ドックは個人を対象にして行う、より詳細な健康一般に関する診査。 「3他疾患の経過観察中」：入院時ルーチン検査を含む。 「4剖検」：剖検によってはじめて腫瘍の存在が発見された場合。 *自覚症状を持ちながらがん検診を受け、がんと診断された場合は「がん検診」とします。
------	--

病 期

病巣の拡がり	病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、無ければ治療前の進行度を用います。ただし、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法等を施行の後、手術（体腔鏡的・内視鏡的手術を含む）を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。再発では記載不要です。番号の大きいほうを優先します。 ※白血病や造血器腫瘍では、空欄でも可とします。 0.上皮内：がんが原発臓器に局限しており、かつ上皮内にとどまるもの。 1.局限：がんが原発臓器に局限しているもの。 2.所属リンパ節転移：所属リンパ節への転移を伴うが、隣接組織、臓器への浸潤がないもの。 3.隣接臓器浸潤：隣接組織、臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの。 4.遠隔転移：遠隔転移があるもの。
--------	--

UICC TNM	地域がん登録では、病巣の拡がりを集計しています。病巣の拡がりに記入がなければ TNM 分類やその他欄の情報から地域がん登録室の方でコード化します（よって初発の場合は、病巣の拡がりか UICC TNM のどちらかは必ず記入して下さい）。 UICC（国際対がん連合）TNM：がん登録では病期分類として「UICC TNM 悪性腫瘍の分類」を使用。
----------	--

その他	深達度、腫瘍径等、 病巣の拡がりの判定に役立つ情報 があれば100字程度に要約して記入してください。
初回治療	・当該腫瘍における一連の初回治療のうち自施設で実施したものを記入、再発では記載不要です。
観血的治療	
手術	自施設での初回治療における外科的治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 (例:【包含】子宮頸がんの円錐切除術 【除外】前立腺がんの去勢術→内分泌療法)
体腔鏡的	自施設での初回治療における体腔鏡的治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
内視鏡的	自施設での初回治療における内視鏡的治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。
観血的治療を総合した治療結果	当該腫瘍に対する 手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入 。初回治療として行った総合的な結果に該当する番号を○で囲んでください。 内視鏡的な治療を最初に行ったが、その後外科的な追加切除を必要とした場合は、外科的切除の根治度を記入。根治度の記入は、組織学的に判断された根治度を用いるのが好ましく、組織的根治度が得られない場合は肉眼的根治度を用います。 ※治癒切除、非治癒切除の定義:領域(所属リンパ節、隣接臓器)までの切除は以下のように定義。 1.治癒切除 : 腫瘍を完全に摘除した場合(相対、絶対切除を含む)。 2.非治癒切除:腫瘍の切除が不完全であった場合(切除しきれなかった場合)。
その他の治療	
放射線	自施設での初回治療における放射線治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 術前照射も含まれます。
化学療法	自施設での初回治療における化学療法の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 化学療法については、定義が曖昧な部分がありますが、 免疫療法・BRM や内分泌療法を包含しないことに留意してください。 (例:【包含】ハーセプチンによる乳がん治療、肝臓のTAI)
免疫療法	自施設での初回治療における免疫療法・BRM 療法の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 BRM(biological response modifier:生体応答調整物質)については、「腫瘍細胞に対する宿主の生物学的応答を修飾することによって、治療効果をもたらす物質または方法」いわゆる非特異的な免疫賦活療法を指すものとします。腫瘍に対する自己免疫強化のためのBCG投与なども含まれます。
内分泌療法	自施設での初回治療における内分泌療法の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 内分泌療法とは、がん組織に対し、ホルモンバランスを替えることにより何らかの効果を求めた治療で、ホルモン投与、ホルモン代謝を拮抗する薬剤、抗ホルモン剤、エストロゲン依存性腫瘍に対する卵巣摘出術等がそれにあたります。(例:【包含】前立腺がんの去勢術)
その他	自施設での初回治療における上記(手術～内分泌療法)以外の治療の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 また「1.有」の場合は実施した治療法について()内に記入ください。 ・TAE(肝動脈塞栓術)、PEIT(経皮的エタノール注入療法)、温熱療法、レーザー等治療(焼灼)、MCT/MCNT、骨髄移植等、およびその他特異的な治療を含みます。
死亡年月日	死亡日が判明している場合、記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可です。

〈参考資料〉

1. 「部位」の記載例

部位名については、下記の記載例を参考にご記入ください（部位例については疾病分類よりの一部抜粋です）。登録室において『国際疾病分類-腫瘍学- 第3版』により、部位（局在）のコード化を行います。

C00-C14 口唇、口腔および咽頭

C00：口唇（口唇の皮膚 C44.0 を除く）

外側上唇、外側下唇、外側口唇、上唇粘膜、下唇粘膜、口唇粘膜、唇交連、口唇の境界部病巣、口唇, NOS

C01：舌根部

舌根部, NOS、舌根部の背面、舌の後3分の1下面、舌後部, NOS、舌根

C02：その他及び部位不明の舌

舌背面, NOS、舌縁、舌尖、舌下面, NOS、舌の前3分の2, NOS、舌前部, NOS、舌扁桃、舌の境界部病巣、舌, NOS

C03：歯肉

上顎歯肉、上顎歯槽粘膜、下顎歯肉、下顎歯槽粘膜、歯槽粘膜、歯ぎん, NOS、歯肉, NOS、歯周組織

C04：口腔底

前部口腔底、側部口腔底、口腔底の境界部病巣、口腔底, NOS

C05：口蓋

硬口蓋、軟口蓋、口蓋垂、口蓋の境界部病巣、口蓋, NOS

C06：その他及び部位不明の口腔

頬粘膜、口腔前庭、歯槽溝、頬側溝、臼後部、臼後三角、口腔の境界部病巣、口腔, NOS、頬粘膜腔、小唾液腺

C07：耳下腺

耳下腺, NOS、ステンセン管、耳下腺管

C08：その他および詳細不明の大唾液腺

顎下腺、ワルトン管、顎下腺管、舌下腺（管）、大唾液腺の境界部病巣、大唾液腺, NOS

C09：扁桃

扁桃窩、扁桃口蓋弓、口峽弓、舌口蓋ひだ、扁桃の境界部病巣、扁桃, NOS、口峽扁桃、口蓋扁桃

C10：中咽頭

喉頭蓋谷、喉頭蓋の前面、中咽頭側壁、中咽頭後壁、鰓裂、中咽頭の境界部病巣、中咽頭の接合部 口峽, NOS、

C11：鼻<上>咽頭〔NPC〕

鼻咽頭上壁、鼻咽頭後壁、アデノイド、鼻咽頭側壁、咽頭円蓋、鼻咽頭前壁、鼻咽頭の境界部病巣、鼻咽頭, NOS

C12：梨状陥凹

梨状陥凹<洞>〔PCS〕、梨状窩、

C13：下咽頭

後輪状軟骨部、輪状咽頭、披裂喉頭蓋ひだ, NOS、下咽頭後壁、下咽頭の境界部病巣、下咽頭壁、咽頭喉頭部、

C14：その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭

咽頭, NOS、咽頭（側・後）壁, NOS、咽頭後部、ワルダイヤ-輪、口唇、口腔及び咽頭の境界部病巣

C 1 5－C 2 6 消化器

C 1 5：食道

頸部食道、胸部食道、胸部上部食道、胸部中部食道、胸部下部食道、腹部食道、食道の境界部病巣、食道, NOS

C 1 6：胃

噴門, NOS、食道胃接合部、胃底部、胃体部、胃前庭部、幽門前庭、幽門、胃角(部)、胃小弯, NOS、胃大弯, NOS、胃の境界部病巣、前壁, NOS、後壁, NOS、胃, NOS

C 1 7：小腸

十二指腸、空腸、回腸、メッケル憩室、小腸の境界部病巣、小腸, NOS

C 1 8：結腸

盲腸、虫垂、上行結腸、右結腸曲、横行結腸、左結腸曲、下行結腸、S状結腸、骨盤部結腸、結腸の境界部病巣、結腸, NOS、大腸（直腸, NOS C20.9 及び直腸S状結腸移行部 C19.9 を除く）

C 1 9：直腸S状結腸移行部

直腸S状結腸, NOS、結腸及び直腸、骨盤直腸移行部

C 2 0：直腸

直腸, NOS、直腸膨大部

C 2 1：肛門及び肛門管

肛門, NOS(肛門皮膚及び肛門周囲皮膚 C44.5 を除く)、肛門管、総排泄腔由来部、直腸、肛門及び肛門管の境界部病巣

C 2 2：肝及び肝内胆管

肝, NOS、肝内胆管、胆小管、細胆管

C 2 3：胆のう

胆のう

C 2 4：その他及び部位不明の胆道

胆外胆管、胆管, NOS、総胆管、胆のう管、肝管、オディ括約筋、ファーター乳頭膨大部、胆道の境界部病巣、胆道, NOS

C 2 5：膵

膵頭部、膵体部、膵尾部、膵管、サントリニ管、ウィルスング管、ランゲルハンス島、内分泌膵、膵頸部、膵の境界部病巣、膵, NOS

C 2 6：その他及び部位不明確の消化器(消化器系の新生物で、その発生部位が C15-C26.0 の何れの項目にも分類されないもの)

腸管, NOS、消化器系の境界部病巣、胃腸管, NOS、消化管, NOS、消化器, NOS

C 3 0－C 3 9 呼吸器系及び胸腔内臓器

C 3 0：鼻腔及び中耳

鼻腔、鼻軟骨、鼻粘膜、鼻中隔、鼻前庭、中耳、内耳、耳管、乳突洞、鼓室

C 3 1：副鼻腔

上顎洞、篩骨洞、前頭洞、蝶形骨洞、副鼻腔の境界部病巣、副鼻腔, NOS

C 3 2：喉頭

声門、内喉頭、声帯, NOS、喉頭交連、喉頭蓋, NOS、披裂喉頭蓋ひだの喉頭面、声門下部、喉頭軟骨、披裂軟骨、輪状軟骨、甲状軟骨、喉頭の境界部病巣、喉頭, NOS

C33：気管

気管

C34：気管支及び肺

主気管支、肺門部、肺小舌、上葉・中葉・下葉、肺（気管支）、肺の境界部病巣、肺、NOS、細気管支、気管支、NOS

C37：胸腺

胸腺

C38：心臓、縦隔及び胸膜

心内膜、心筋、心室、前縦隔、後縦隔、縦隔、NOS、胸膜、NOS、壁側胸膜、臓側胸膜、心臓、縦隔、胸膜の境界部病巣

C39：その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器

上気道、NOS、呼吸器系及び胸腔内臓器の境界部病巣、部位不明確の呼吸器系、気道、NOS

C40－C41 骨、関節及び関節軟骨

C40：肢の骨、関節及び関節軟骨

上肢の長骨、肩甲骨及びその関節（肩鎖関節、肘関節、上腕骨、橈骨、肩甲骨、肩関節、尺骨）
上肢の短骨及びその関節（指骨、手根骨、中手骨、手の指節骨、手関節）
下肢の長骨及びその関節（脚の骨、大腿骨、脛骨、腓骨、半月、膝関節、）
下肢の短骨（膝蓋骨、足関節、足根骨、趾骨、踵骨、足の骨）
四肢の骨、関節及び関節軟骨の境界部病巣、四肢の軟骨、NOS、四肢の関節、NOS、四肢の関節軟骨、NOS

C41：その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨

頭蓋骨、顔面骨及びその関節（頭蓋冠、篩骨、舌骨、上顎骨、鼻骨、眼窩の骨、頭頂骨、頬骨）
下顎（下顎骨、顎関節、顎骨、NOS）
脊柱（環椎、背骨、椎間板、脊柱、脊椎、椎骨）
肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節（肋軟骨、肋椎軟骨、胸肋関節）
骨盤骨、仙尾骨及びその関節（寛骨臼、股関節部の骨、腸骨、骨盤骨、仙骨、尾骨、恥骨、坐骨、恥骨結合）
骨、関節及び関節軟骨の境界部病巣、骨、NOS、軟骨、NOS、関節、NOS、関節軟骨、NOS

C42：造血系及び細網内皮系

血液、骨髓、脾、細網内皮系、NOS、造血系、NOS

★白血病の場合は、
部位は「骨髓」と
記載。

C44：皮膚（外陰部の皮膚 C51. 2、陰茎の皮膚 C60. 9、陰のうの皮膚 C63. 2 を除く）

口唇の皮膚、眼瞼、マイボーム腺、上眼角、耳介、外耳道、耳輪、耳の皮膚、NOS
その他及び部位不明の顔面の皮膚（頬部、顔面、鼻翼、おとがい、NOS、眉毛、前頭部、NOS、側頭部、NOS）
頭皮及び頸の皮膚（頭皮、頸部の皮膚、鎖骨上部の皮膚）
体幹の皮膚（腹部、腹壁、肛門、腋窩、背部、乳房、臀部、胸壁、体幹、会陰部、臍、鎖骨上部、仙尾骨部、肛門周囲皮膚）
上肢及び肩の皮膚（腕、肘、指、手掌、肩、上肢、手首、指爪）
下肢及び股関節部の皮膚（足首、股関節部、膝、脚、踵、大腿、足底、趾爪）
皮膚の境界部病巣、皮膚、NOS

C47：末梢神経及び自律神経系（自律神経系、神経節、神経、副交感神経系、末梢神経、脊髄神経、交感神経系を含む）

頭部、顔面及び頸部の末梢神経及び自律神経系（頬部、顔面、頸部、頭部、翼突窩、鎖骨上部、頸神経そう）
上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系（腕、肘、手、肩、手首、上腕神経、腕神経そう、正中神経、橈骨神経、尺骨神経）
下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系（足首、股関節部、膝、大腿、趾、大腿神経、閉鎖神経、坐骨神経）
胸部郭の末梢神経及び自律神経系（腋窩、胸部、胸壁、鎖骨上部、肩甲部、肋間神経）
腹部の末梢神経及び自律神経系（腹壁、臍）
骨盤の末梢神経及び自律神経系（臀部、そけい部、会陰部、腰仙骨神経そう、仙骨神経）
体幹の末梢神経及び自律神経系（背部、側腹部、体幹、腰神経）
自律神経系、NOS（神経節、NOS、副交感神経系、NOS、末梢神経、NOS、交感神経系、NOS、脊髄神経、NOS）

C48：後腹膜及び腹膜

後腹膜（副腎周囲組織、腎周囲組織、脾周囲組織、盲腸後組織、後腹膜組織）、
腹膜（腸間膜、虫垂間膜、結腸間膜、大網、骨盤腹膜、直腸子宮窩、ダグラス窩）、
腹膜腔、後腹膜及び腹膜の境界部病巣

C49：結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（脂肪組織、腱膜、動脈、血管、滑液のう、結合組織、筋膜、線維組織、 靱帯、リンパ管、筋、骨格筋、皮下組織、滑膜、腱、腱鞘、静脈、脈管を含む）

頭部、顔面及び頸部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（頬部、前頭部、頸部、頭皮、翼突窩、耳の軟骨、
頸動脈、胸鎖乳突筋）

上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（腕、肘、指、肩、上腕二頭筋、三角筋、手掌腱膜、尺骨動脈）

下肢及び股関節部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（足首、踵、股関節部、膝、脚、大腿動脈、腓腹筋）

胸郭の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（胸腺 C37.9、心臓及び縦隔 C38. _を除く）（胸部、胸壁、肩甲部、
大動脈、NOS、横隔膜、肋間筋、大胸筋、鎖骨下動脈、胸管、僧帽筋）

腹部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（腹部大動脈、腹壁筋、腹腔動脈、腰筋、腹直筋、腎動脈、大静脈）

骨盤の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（臀部、そけい部、会陰部、仙尾骨部、大臀筋、腸骨動脈、腸骨静脈）

体幹の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（背部、側腹部、体幹）

結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織、NOS（脂肪組織、NOS、腱膜、NOS、結合組織、NOS、リンパ管、NOS、筋、NOS
骨格筋、NOS、皮下組織、NOS、滑膜、NOS、静脈、NOS、脈管、NOS）

C50：乳房（乳房の皮膚 C44.5 を除く）

乳頭、乳房中央部（E）、乳房上内側4分の1（A）、乳房下内側4分の1（B）、乳房上外側4分の1（C）、乳房下外側
4分の1（D）、乳腺腋窩尾部、乳房の境界病巣（内側乳房、下部乳房、乳房正中線部、外側乳房、上部乳房）、乳腺

C51－C58 女性性器

C51：外陰

大陰唇、NOS、大陰唇の皮膚、バルトリン腺、小陰唇、陰核、女性外性器、陰唇小帯、恥丘、外陰部、外陰の皮膚

C52：膣

膣、膣円蓋、ガルトネル管、処女膜

C53：子宮頸

子宮頸内膜、子宮頸管、ナボット腺、子宮頸外部、子宮口、子宮頸断端、子宮頸の扁平円柱上皮接合部、子宮頸

C54：子宮体部

子宮峡部、子宮内膜、子宮内膜腺、子宮筋層、子宮底、子宮体部の境界部病巣、子宮体部、

C55：子宮、NOS

子宮、NOS

C56：卵巢

卵巢

C57：その他及び部位不明の女性性器

卵管、子宮広間膜、卵巢間膜、傍卵巢部、子宮円索、子宮傍組織、子宮靱帯、子宮付属器、フォルフ体、
フォルフ管、女性性器の境界部病巣、卵管-卵巢、子宮-卵巢、女性尿路性器、NOS、尿道膈中隔、膀胱膈中隔

C58：胎盤

胎盤、卵膜

C60－C63 男性性器

C60：陰茎

包皮、亀頭、陰茎体部、海綿体、陰茎の境界部病巣、陰茎, NOS、陰茎の皮膚

C61：前立腺

前立腺, NOS

C62：精巣

停留精巣、潜在精巣、異所性精巣、下降精巣、陰のう精巣、精巣, NOS

C63：その他及び部位不明の男性性器

精巣上体、精索、精管、陰のう, NOS、陰のうの皮膚、精のう、精巣鞘膜、男性性器の境界部病巣、男性尿路性器, NOS

C64－C68 尿路

C64：腎

腎, NOS、腎実質、

C65：腎盂

腎盂、腎杯、腎盂尿管接合部

C66：尿管

尿管

C67：膀胱

膀胱三角、膀胱円蓋、膀胱側壁、膀胱前壁、膀胱後壁、膀胱頸部、内尿道口、尿管口、尿膜管、膀胱壁、膀胱, NOS

C68：その他及び部位不明の泌尿器

尿道、カウパー腺、前立腺小室、尿道腺、尿道傍腺、泌尿器の境界部病巣、尿路系, NOS

C69－C72 眼、脳及びその他の中枢神経系

C69：眼及び付属器

結膜、角膜、網膜、脈絡膜、毛様体、水晶体、涙腺、涙管、眼窩（自律神経系, 自律神経結合組織, 末梢神経, 軟部組織）、外眼筋、眼球後部組織、眼及び付属器の境界部病巣、眼, NOS

C70：髄膜

脳髄膜、頭蓋硬膜、頭蓋軟膜、小脳鎌、大脳鎌、小脳テント、脊髓膜、脊髓くも膜、脊髓硬膜、髄膜、くも膜、

C71：脳

大脳、脳梁、大脳皮質、視床下部、前頭葉、側頭葉、海馬、頭頂葉、後頭葉、脳室、脈絡そう、小脳、脳幹、延髄、中脳、脳の境界部病巣、頭蓋内の部位、頭蓋窩, NOS、前・中・後頭蓋窩、鞍上部

C72：脊髓、脳神経及びその他の中枢神経系

脊髓、頸髄、胸髄、馬尾、嗅神経、視神経、視交叉、聴神経、脳神経、外転神経、顔面神経、三叉神経、迷走神経、滑車神経、脳及び中枢神経系の境界部病巣、中枢神経系、硬膜外、傍トルコ鞍部

C73－C75 甲状腺及びその他の内分泌腺

C73：甲状腺

甲状腺, NOS、甲状舌管

C74：副腎

副腎皮質、副腎髓質、副腎, NOS

C75：その他の内分泌腺及び関連組織

上皮小体、下垂体、ラトケのう、トルコ鞍、頭蓋咽頭管、松果体、頸動脈小体、大動脈小体、パラガングリオン、傍大動脈体、多内分泌腺、多腺性、内分泌腺, NOS

C76：その他及び不明確な部位

頭部, 顔面又は頸部, NOS（頬, NOS、顎, NOS、鼻, NOS、頸部, NOS、鎖骨上部, NOS）

胸郭, NOS（胸部, NOS、胸壁, NOS、胸腔内, NOS、鎖骨下部, NOS、肩甲部, NOS）

腹部, NOS（腹壁, NOS、腹腔内, NOS、）

骨盤, NOS（臀部, NOS、そけい部, NOS、会陰部, NOS、直腸膀胱中隔、坐骨直腸窩、直腸周囲, NOS、仙尾骨部, NOS）

上肢, NOS（腕, NOS、肩, NOS、肘, NOS、手, NOS、指, NOS）

下肢, NOS（足首, NOS、踵, NOS、股関節部, NOS、脚, NOS、大腿, NOS）

その他の不明確な部位（背部, NOS、体幹, NOS、側腹部, NOS）

C77：リンパ節

頭部, 顔面及び頸部のリンパ節（耳介リンパ節, 頸部リンパ節, 下顎リンパ節, 気管前リンパ節, 鎖骨上リンパ節）

胸腔内リンパ節（気管支リンパ節, 横隔膜リンパ節, 食道リンパ節, 肺門リンパ節, 肋間リンパ節, 縦隔リンパ節）

腹腔内リンパ節（大動脈リンパ節, 結腸リンパ節, 胃リンパ節, 大動脈周囲リンパ節, 脾周囲リンパ節, 脾門リンパ節）

腋窩又は腕のリンパ節（腋窩リンパ節, 上腕リンパ節, 滑車上リンパ節, 鎖骨下リンパ節, 胸筋リンパ節, 肩甲下リンパ節）

下肢又はそけい部のリンパ節（大腿リンパ節, そけいリンパ節, クー-リンパ節, 下肢のリンパ節, 膝窩リンパ節, 脛骨リンパ節）

骨盤リンパ節（下腹リンパ節, 腸骨リンパ節, 骨盤内リンパ節, 閉鎖リンパ節, 傍子宮頸リンパ節, 仙骨リンパ節）

多部位のリンパ節、リンパ節

C80 原発部位不明

原発部位不明

C 1 6：胃

上皮内癌・非浸潤性

上皮内癌

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

乳頭腺癌 NOS

管状腺癌

高分化型

中分化型

低分化腺癌

充実型

非充実型,硬癌

小細胞癌（神経内分泌癌）

印環細胞癌

粘液癌

腺扁平上皮癌

扁平上皮癌 NOS

カルチノイド腫瘍 NOS

未分化癌 NOS

肉腫 NOS

平滑筋肉腫 NOS

胃腸管間質腫瘍,悪性

MALT リンパ腫

Intraepithelial carcinoma

Adenocarcinoma, NOS

Papillary adenocarcinoma, NOS (pap)

Tubular adenocarcinoma (tub)

well differentiated type (tub1)

moderately differentiated type (tub2)

Poorly differentiated adenocarcinoma (por)

solid type (por1)

non-solid type (por2) ,scirrhou type (sci)

Small cell carcinoma, Neuroendocrine carcinoma

Signet-ring cell carcinoma (sig)

Mucinous adenocarcinoma (muc)

Adenosquamous carcinoma (asc)

Squamous cell carcinoma, NOS (SCC)

Carcinoid tumor, NOS

Undifferentiated carcinoma, NOS

Sarcoma, NOS

Leiomyosarcoma, NOS

Gastrointestinal stromal tumor (GIST) , malignant

MALT lymphoma

C 1 7：小腸

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS

カルチノイド腫瘍 NOS

平滑筋肉腫 NOS

Adenocarcinoma, NOS

Carcinoid tumor, NOS

Leiomyosarcoma, NOS

C 1 8-C21：結腸,直腸・肛門

上皮内癌・非浸潤性《★粘膜癌, m 癌》

上皮内腺癌 NOS

腺腫性ポリープ内上皮内腺癌

悪性・浸潤癌《sm 癌以上》

腺腫内[腺]癌

管状絨毛状腺腫内腺癌

絨毛状腺腫内腺癌

大腸腺腫性^{ポリープ}-内腺癌

腺癌 NOS

肛門腺腺癌

乳頭（状）腺癌 NOS

管状腺癌

粘液癌

印環細胞癌

扁平上皮癌 NOS

腺扁平上皮癌

未分化癌 NOS

カルチノイド腫瘍 NOS

Adenocarcinoma in situ, NOS

Adenocarcinoma in situ in adenomatous polyp

Adenocarcinoma in adenomatous polyp

[ad.]ca. in adenoma, focal(carcinoma in adenoma)

Cancer in adenoma

Adenocarcinoma in tubulovillous adenoma

Adenocarcinoma in villous adenoma

Adenocarcinoma in adenomatous polyposis coli

Adenocarcinoma, NOS

Adenocarcinoma of anal glands

Papillary adenocarcinoma (pap)

Tubular adenocarcinoma (tub)

Mucinous adenocarcinoma (muc)

Signet-ring cell carcinoma (sig)

Squamous cell carcinoma, NOS (SCC)

Adenosquamous carcinoma (asc)

Undifferentiated carcinoma, , NOS

Carcinoid tumor, NOS

粘液嚢胞腺癌 NOS (虫垂)
類基底細胞癌 (肛門管)
悪性黒色腫 NOS (肛門管)
平滑筋肉腫 NOS
B 細胞性リンパ腫

Mucinous cystadenocarcinoma, NOS
Basaloid carcinoma
Malignant Melanoma, NOS
Leiomyosarcoma, NOS
B-cell lymphoma

C 2 2 : 肝

悪性・浸潤癌

肝細胞癌 NOS
肝細胞癌、線維層板状
肝細胞癌、硬性
硬化性肝癌
肝細胞癌、紡錘形細胞変異型
肝細胞癌、肉腫様
肝細胞癌、明細胞型
肝細胞癌、多形型

Hepatocellular carcinoma (HCC), NOS
Hepatocellular carcinoma, fibrolamellar
Hepatocellular carcinoma, scirrhous
Sclerosing hepatic carcinoma
Hepatocellular carcinoma, spindle cell variant
Hepatocellular carcinoma, sarcomatoid
Hepatocellular carcinoma, clear cell type
Hepatocellular carcinoma, pleomorphic type

◎Edmondson 分類

I = 高分化、II = 中分化、III = 低分化、IV = 未分化

未分化肉腫
未分化癌 NOS
肝細胞癌・胆管癌の混合型
肝芽[細胞]腫
血管肉腫
胆管癌、胆管細胞癌
[胆管]嚢胞腺癌

Undifferentiated sarcoma (embryonal sarcoma)
Undifferentiated carcinoma, NOS
Combined HCC and cholangiocarcinoma
Hepatoblastoma
Hemangiosarcoma
Cholangiocarcinoma, Bile duct carcinoma, CCC
Bile duct cystadenocarcinoma

C 2 3 - C 2 4 : 胆のう、肝外胆管・胆道

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS
胆管癌、胆管細胞癌

乳頭状腺癌
管状腺癌
高分化型
中分化型
低分化型
粘液癌
高分化型
低分化型
印環細胞癌
腺扁平上皮癌
扁平上皮癌 NOS
未分化癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS
Cholangiocarcinoma,
Bile duct carcinoma, CCC
Papillary adenocarcinoma (pap)
Tubular adenocarcinoma (tub)
well differentiated type (tub1)
moderately differentiated type (tub2)
poorly differentiated type (tub3)
Mucinous adenocarcinoma (muc)
well differentiated type (muc-w)
poorly differentiated type (muc-p)
Signet-ring cell carcinoma (sig)
Adenosquamous carcinoma (asc)
Squamous cell carcinoma, NOS (scc)
Undifferentiated carcinoma, NOS (ud)

C 2 5 : 膵

上皮内癌・非浸潤性

膵管内乳頭粘液性腺癌、非浸潤性
粘液性嚢胞腺癌、非浸潤性

Intraductal papillary-mucinous carcinoma (IPMC),
non-invasive
Mucinous cystadenocarcinoma, non-invasive

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS
嚢胞腺癌 NOS
膵管内乳頭粘液性腺癌、浸潤性

浸潤性膵管癌

乳頭腺癌 NOS
管状腺癌
 高分化型
 中分化型
低分化腺癌
腺扁平上皮癌
粘液癌
粘液性嚢胞腺癌 NOS
腺房細胞癌
未分化癌 NOS
島細胞癌

Adenocarcinoma, NOS
Cystadenocarcinoma, NOS
Intraductal papillary-mucinous carcinoma (IPMC),
Invasive
Invasive ductal carcinoma (IDCs)
Papillary adenocarcinoma, NOS (pap)
Tubular adenocarcinoma (tub)
 well differentiated type (tub1)
 moderately differentiated type (tub2)
Poorly differentiated adenocarcinoma (por)
Adenosquamous carcinoma (asc)
Mucinous adenocarcinoma (muc)
Mucinous cystadenocarcinoma, NOS (MCC)
Acinar cell carcinoma (ACC)
Undifferentiated carcinoma, NOS
Islet cell carcinoma

C30-C31：鼻腔・中耳、副鼻腔

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS
腺癌 NOS
腺様嚢胞癌
悪性黒色腫 NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma, NOS
Adenocarcinoma, NOS
Adenoid cystic carcinoma
Malignant Melanoma, NOS

C32：喉頭

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS
 角化型 NOS
 [大細胞性]非角化
 小細胞性非角化

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma, NOS
 Keratinizing, NOS
 [large cell,]nonkeratinizing
 small cell, nonkeratinizing

C33-C34：気管、気管支・肺

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

小細胞癌 NOS
燕麦細胞癌
小細胞混合癌

非小細胞癌
扁平上皮癌 NOS
腺癌 NOS
乳頭腺癌 NOS
細気管支肺腺癌 NOS
 粘液非産生性

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Small cell carcinoma (SmCC), NOS
Oat cell carcinoma
Combined small cell carcinoma
 (larg.ad.ca., SqCC との混合)
Non-small cell carcinoma
Squamous cell carcinoma, NOS
Adenocarcinoma, NOS
Papillary adenocarcinoma, NOS
Bronchiolo-alveolar adenocarcinoma (BAC)
 non-mucinous

粘液産生性
粘液産生性・非産生性混合型
管状腺癌
大細胞癌 NOS
大細胞神経内分泌癌
カルチノイド腫瘍 NOS
腺扁平上皮癌
混合型腺癌

mucinous
mixed
Tubular adenocarcinoma
Large cell carcinoma, NOS (LCC)
Large cell neuroendocrine carcinoma (LCNEC)
Carcinoid tumor, NOS
Adenosquamous carcinoma
Adenocarcinoma with mixed subtypes

C 3 7 : 胸腺

悪性胸腺腫 NOS
胸腺癌 NOS

Thymoma, malignant, NOS
Thymic carcinoma, NOS,
Thymic cancer

C 3 8 : 心臓,縦隔及び胸膜

悪性中皮腫 NOS

Malignant Mesothelioma, NOS

C 4 0 - 4 1 : 骨、関節及び関節軟骨

線維性組織球腫、悪性
骨肉腫 NOS
軟骨肉腫 NOS
ユーイング肉腫

Fibrous histiocytoma, malignant (MFH)
Osteosarcoma, NOS
Chondrosarcoma, NOS
Ewing' s sarcoma

C 4 4 : 皮膚

上皮内癌・非浸潤性

ボウエン病
上皮内扁平上皮癌 NOS

Bowen' s disease
Squamous cell carcinoma in situ, NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS
有棘細胞癌
基底細胞癌
パジェット病, 乳房外
[悪性]黒色腫 NOS
皮膚線維肉腫 NOS
血管肉腫
カポジ肉腫
菌状息肉腫症
セザリー症候群
成人T細胞白血病・リンパ腫

Squamous cell carcinoma, NOS

Basal cell carcinoma, NOS (BCC)
Paget' s disease, extramammary
[Malignant]melanoma, NOS
Dermatofibrosarcoma, NOS
Hemangiosarcoma
Kaposi sarcoma
Mycosis fungoides
Sezary syndrome
Adult T-cell leukemia/lymphoma

C 4 7 - C 4 9 : 末梢神経・自律神経、腹膜、結合組織及び軟部組織

悪性末梢神経鞘性腫瘍
神経鞘腫、悪性
神経芽細胞腫 NOS
腹膜原発性漿液性乳頭癌
平滑筋肉腫 NOS

Malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST)
Neurilemmoma, malignant
Neuroblastoma, NOS
Primary serous papillary carcinoma of peritoneum
Leiomyosarcoma, NOS

中皮腫 NOS
 肉腫 NOS
 線維肉腫 NOS
 線維性組織球腫、悪性
 脂肪肉腫 NOS
 平滑筋肉腫 NOS
 横紋筋肉腫 NOS
 滑膜肉腫 NOS
 粘液線維肉腫
 血管肉腫
 カボシ肉腫
 骨外性ユーイング肉腫

Mesothelioma, NOS
 Sarcoma, NOS
 Fibrosarcoma, NOS
 Fibrous histiocytoma, malignant (MFH)
 Liposarcoma, NOS
 Leiomyosarcoma, NOS
 Rhabdomyosarcoma, NOS
 Synovial sarcoma, NOS
 Myxofibrosarcoma
 Hemangiosarcoma(angiosarcoma)
 Kaposi sarcoma
 Extraskeletal Ewing' s sarcoma

C50：乳房

上皮内癌・非浸潤性

非浸潤癌 NOS
 非浸潤性乳管癌 NOS
 DCIS, NOS
 非浸潤性導管内乳頭状腺癌
 導管内小乳頭状癌
 導管上皮内癌、充実型
 非浸潤性小葉癌 NOS
 パジェット病、乳房、上皮内

Noninvasive carcinoma, NOS
 Noninvasive ductal carcinoma, NOS
 Intraductal carcinoma, NOS
 Noninfiltrating intraductal papillary ad.ca.
 Intraductal micropapillary ca.
 Ductal carcinoma in situ, solid type
 Lobular carcinoma in situ, NOS
 Paget' s disease, mammary, in situ

悪性・浸潤癌

浸潤癌 NOS
 浸潤性乳管癌
 乳頭腺管癌
 充実腺管癌
 硬癌
 他の型の癌を伴う浸潤性導管癌
 他の型の癌を伴う浸潤性小葉癌
 粘液癌
 髄様癌 NOS
 浸潤性小葉癌
 管状癌
 コメド癌 NOS
 パジェット病、乳房
 葉状腫瘍、悪性
 アポクリン癌
 紡錘細胞癌

Invasive carcinoma, NOS
 Invasive ductal carcinoma
 Infiltrating duct carcinoma
 Papillotubular type
 Solid-tubular type
 scirrhou type
 Infiltrating duct mixed with other types of carcinoma
 Infiltrating lobular mixed with other types of carcinoma
 Mucinous carcinoma
 Medullary carcinoma, NOS
 Invasive lobular carcinoma
 Tubular carcinoma
 Comedocarcinoma, NOS
 Paget' s disease, mammary
 Phyllodes tumor, malignant
 Apocrine carcinoma
 Spindle cell carcinoma

C 5 1－C 5 2：外陰、膣

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS

悪性・浸潤癌

扁平上皮癌 NOS
 角化型 NOS
 パジェット病、乳房外
 悪性黒色腫 NOS

Squamous cell carcinoma in situ, NOS

Squamous cell carcinoma, NOS
 Keratinizing, NOS
 Paget' s disease, extramammary
 Malignant melanoma, NOS

C 5 3 : 子宮頸 (部)

上皮内癌・非浸潤性

上皮内癌 NOS
上皮内扁平上皮癌 NOS
扁平上皮内腫瘍、Ⅲ度

悪性・浸潤癌

[扁平上皮]癌、微小浸潤性
扁平上皮癌 NOS
角化型 NOS
[大細胞性]非角化
小細胞性非角化
腺癌 NOS
腺癌、内頸部型
粘液性腺癌
粘液性腺癌、内頸部型
類内膜腺癌
明細胞腺癌
漿液性腺癌
腺扁平上皮癌

Carcinoma in situ, NOS
Squamous cell carcinoma in situ, NOS
Squamous intraepithelial neoplasia gradeⅢ (CINⅢ)

[Squamous cell]carcinoma, microinvasive
Squamous cell carcinoma, NOS
Keratinizing, NOS
[large cell,]nonkeratinizing
small cell, nonkeratinizing
Adenocarcinoma, NOS
Adenocarcinoma, endocervical type
Mucinous adenocarcinoma
Mucinous adenocarcinoma, endocervical type
Endometrioid adenocarcinoma
Clear cell adenocarcinoma
Serous adenocarcinoma
Adenosquamous carcinoma

C 5 4 : 子宮体

上皮内癌・非浸潤性

上皮内腺癌 NOS

悪性・浸潤癌

類内膜癌 NOS
扁平上皮への分化を伴う類内膜腺癌

腺扁平上皮癌
肉腫 NOS
平滑筋肉腫 NOS
類上皮平滑筋肉腫
粘液性平滑筋肉腫
癌肉腫 NOS
子宮内膜間質肉腫
明細胞腺癌 (類中腎腺癌)
漿液性腺癌
粘液性腺癌

Adenocarcinoma in situ, NOS

Endometrioid carcinoma, NOS
Endometrioid adenocarcinoma with
squamous differentiation
Adenosquamous carcinoma
Sarcoma, NOS
Leiomyosarcoma, NOS
Epithelioid leiomyosarcoma
Myxoid leiomyosarcoma
Carcinosarcoma, NOS
Endometrial stromal sarcoma
clear cell adenocarcinoma, NOS
Serous adenocarcinoma
Mucinous adenocarcinoma

C 5 6 : 卵巣

性状不詳・境界悪性

嚢胞腺腫、境界悪性

悪性・浸潤癌

腺癌 NOS
類内膜癌
明細胞腺癌 NOS
嚢胞腺癌 NOS
漿液性[嚢胞]腺癌 NOS
乳頭状嚢胞腺癌 NOS
乳頭状漿液性[嚢胞]腺癌
粘液性嚢胞腺癌 NOS
乳頭状粘液性嚢胞腺癌

Cystadenoma, borderline malignancy

Adenocarcinoma, NOS
Endometrioid carcinoma
Clear cell adenocarcinoma, NOS
Cystadenocarcinoma, NOS
Serous [cyst] adenocarcinoma, NOS
Papillary cystadenocarcinoma, NOS
Papillary serous [cyst] adenocarcinoma
Mucinous cystadenocarcinoma, NOS
Papillary mucinous cystadenocarcinoma, NOS

粘液性腺癌
顆粒膜細胞腫瘍、悪性
内胚葉洞腫瘍
卵黄のう〈嚢〉腫瘍
奇形腫、悪性 NOS

Mucinous adenocarcinoma
Granulosa cell tumor, malignant
Endodermal sinus tumor
Yolk sac tumor
Teratoma, malignant, NOS

C 5 8 : 胎盤

絨毛癌 NOS

Choriocarcinoma, NOS

C60:陰茎

扁平上皮癌 NOS

Squamous cell carcinoma, NOS

C61:前立腺

腺癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS

◎Gleason score(2-10)= primary Gleason grade(1-5)+secondary Gleason grade(1-5)
2-4 : well diff、 5-6 : moderately diff、 7-10 : poorly diff

C 6 2 : 精巣〈睾丸〉

精上皮腫 NOS
胎児性癌 NOS
奇形腫、悪性
奇形癌
混合性胚細胞腫瘍

Seminoma, NOS
Embryonal carcinoma, NOS
Teratoma, malignant
Teratocarcinoma
Mixed germ cell tumor

C 6 4 : 腎

腎細胞癌 NOS
淡明細胞癌
嫌色素細胞癌
紡錘細胞癌
腎芽〔細胞〕腫 NOS
ウィルムス腫瘍
移行上皮癌 NOS

Renal cell ca. (RCC), NOS
Clear cell carcinoma
Chromophobe cell carcinoma
Spindle cell carcinoma
Nephroblastoma, NOS
Wilm' s tumor
Transitional cell carcinoma, NOS

C 6 5-6 8 : 腎盂、尿管、膀胱、その他及び部位不明の泌尿器

上皮内癌・非浸潤性

上皮内扁平上皮癌 NOS
上皮内移行上皮癌
上皮内尿路上皮癌
乳頭状移行上皮癌、非浸潤性

Squamous cell carcinoma in situ, NOS
Transitional cell carcinoma in situ 《Tis》
Urothelial carcinoma in situ 《Tis》
Papillary transitional cell carcinoma,
non-invasive 《Ta》

乳頭状尿路上皮癌、非浸潤性

Papillary urothelial cell carcinoma, non-invasive 《Ta》

悪性・浸潤癌

移行上皮癌 NOS
尿路上皮癌 NOS

Transitional cell carcinoma, NOS (TCC)
Urothelial carcinoma, NOS (UC)

扁平上皮癌 NOS
乳頭状移行上皮癌
乳頭状尿路上皮癌
尿管癌

Squamous cell carcinoma, NOS(SCC)
Papillary transitional cell carcinoma
Papillary urothelial carcinoma
Urachal carcinoma

C69：眼及び付属器

網膜芽細胞腫 NOS

Retinoblastoma, NOS

C70：髄膜

良性
髄膜腫 NOS
悪性・浸潤癌
髄膜腫、悪性

Meningioma, NOS

Meningioma, malignant

C71：脳

性状不詳・境界悪性
毛細胞性アストロサイトーマ
悪性・浸潤癌
神経膠腫、悪性
上皮腫 NOS
星細胞腫 NOS
星細胞腫、退形成
星芽細胞腫
膠芽腫 NOS
希突起膠腫 NOS
髄芽腫 NOS
原始神経外胚葉腫瘍
胚細胞腫

Pilocytic astrocytoma

Glioma, malignant
Ependymoma, NOS
Astrocytoma, NOS
Astrocytoma, anaplastic
Astroblastoma
Glioblastoma, NOS
Oligodendroglioma, NOS
Medulloblastoma, NOS
Primitive neuroectodermal tumor
Ganglioneuroblastoma

C72：その他脊髄・脳神経

良性
神経鞘腫〈ノイリレモーマ〉NOS
悪性・浸潤癌
神経鞘腫〈ノイリレモーマ〉、悪性
嗅神経芽腫
神経節芽腫

Neurilemmoma, NOS

Neurilemmoma, malignant
Olfactoryneuroblastoma
Ganglioneuroblastoma

C73：甲状腺

悪性・浸潤癌
腺癌 NOS
癌[腫]、未分化 NOS
甲状腺乳頭癌 NOS
乳頭[状]腺癌 NOS
濾胞[腺]癌 NOS
乳頭・濾胞[腺]癌
髄様癌 NOS

Adenocarcinoma, NOS
Carcinoma, undifferentiated, NOS
Papillary carcinoma of thyroid, NOS
Papillary adenocarcinoma, NOS
Follicular [ad.] carcinoma, NOS
Papillary and follicular [ad.] carcinoma
Medullary carcinoma, NOS

アミロイド間質を伴う髄様癌
髄様癌（C細胞癌）
髄様・濾胞混合癌

Medullary carcinoma with amyloid stroma
Medullary carcinoma, (C-cell carcinoma)
Mixed medullary and follicular cell carcinoma

C74：副腎

副腎皮質癌
神経芽細胞腫 NOS
悪性褐色細胞腫

Adrenal cortical carcinoma
Neuroblastoma, NOS
Malignant pheochromocytoma

C75：その他の内分泌腺及び関連組織

良性

下垂体腺腫 NOS

Pituitary adenoma, NOS

性状不詳・境界悪性

頭蓋咽頭腫

Craniopharyngioma

松果体腫

Pinealoma

悪性・浸潤癌

下垂体癌 NOS

Pituitary carcinoma, NOS

胚細胞腫

Germinoma

C42・C77：造血系及び細網内皮系、リンパ節

◆白血病関連

急性骨髄性白血病

Acute Myeloid (Myelocytic/myeloblastic) leukemia (AML)

・・・AML、M0, M1, M2, M3 (APL), M4, M5, M6, M7

急性リンパ性白血病

Acute Lymphoid (lymphocytic/lymphoblastic) leukemia (ALL)

・・・ALL、L1, L2, L3

慢性骨髄性白血病

Chronic Myeloid (Myelocytic/myeloblastic) Leukemia (CML)

慢性リンパ性白血病

Chronic Lymphocytic Leukemia (CLL)

◆リンパ腫関連

悪性リンパ腫

Malignant Lymphoma (ML)

びまん大細胞性B細胞リンパ腫

Diffuse Large B-cell Lymphoma (DLBCL)

ろ胞性リンパ腫

Follicular lymphoma (FL)

粘膜関連リンパ組織リンパ腫

Mucosa Associated Lymphoid Tissue Lymphoma (MALT lymphoma)

辺縁帯B細胞性リンパ腫

Marginal Zone B-cell Lymphoma (MZL)

マントル細胞リンパ腫

Mantle Lymphoma (MCL)

（末梢性）T細胞性リンパ腫

Peripheral T-cell lymphoma (PTCL)

ホジキンリンパ腫

Hodgkin's Lymphoma (HL)

◆骨髄腫関連

多発性骨髄腫

Multiple Myeloma (MM)

形質細胞性骨髄腫

Plasma cell myeloma

形質細胞(性)白血病

Plasma cell leukemia / Plasmacytic leukemia

◆骨髄異形成症候群（MDS）関連

骨髄異形成症候群

Myelodysplastic Syndrome (MDS)

不応性貧血

Refractory anemia (RA)

鉄芽球を伴う不応性貧血

Refractory anemia with ringed-sideroblasts (RARS)

芽球増加を伴う不応性貧血

Refractory anemia with excess-blasts (RAEB)

慢性骨髄単球性白血病

Chronic myelomonocytic leukemia (CMML)

◆その他

慢性赤血病

Chronic erythremia

慢性骨髄増殖性疾患

Chronic myeloproliferative disease (CMPD)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
―目次― P.1 記入事例 2 届出票記載についての注意 3 各項目の記載要領 4 参考資料 1. 「部位」の記載例 7 2. 「病理診断名」の記載例 13 (削除)	―目次― P.1 記入事例 2 届出票記載についての注意 3 各項目の記載要領 4 参考資料 1. 「部位」の記載例 7 2. 「病理診断名」の記載例 13 3. 「病巣の拡がり」 23 ―進展度及び進行度対応表」(34部位)	(削除)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
届出票記載についての注意 P.3 ◆ 届出対象者・対象疾患 1. 届出対象者：診断時に福岡県内に居住している方 2. 対象疾患： (1) 上皮内がんを含む全悪性新生物（癌、肉腫、悪性腫瘍、白血病、リンパ腫等で、転移性・再発を除く） (2) 頭蓋内の新生物（良性・悪性、性状不詳のものも含む） ※確定診断された症例で、疑い症例は除きます。	届出票記載についての注意 P.3 ◆届出対象は下記の通りです。 1. 診断時に福岡県内に居住している者 2. 全悪性新生物（癌、肉腫、悪性腫瘍、白血病、リンパ腫、上皮内がんなども含む）または頭蓋内の新生物（良性・悪性、性状不詳に関わらず） 3. 上記確定診断された症例で、疑い症例は除く	(修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
届出票記載についての注意 P.3 ◆ 届出票作成時期 ※ 1 腫瘍につき 1 枚の届出票の作成と提出をお願いします。 ※ 患者の初回治療が終了した時点、届出票作成時期の原則とします。 ※ 初回治療が長期に渡る場合は、当該新生物の診断から 6 ヶ月以内、また遅くとも 1 年以内を目安に提出して下さい。 【届出票作成時期の目安】 - 入院患者の場合 - 初回治療が終了して退院したとき - 入院期間が 6 ヶ月を超えた時 - 外来患者の場合 - がんと確定診断し、外来手術を実施したとき - がんと確定診断し、外来手術以外の治療を実施したとき - 初回治療の継続のために、他院に紹介した時点 (すでに届出を行っている場合を除く) - 他施設で初回治療が完了した後、自施設で当該新生物に関わる診療をした場合 (再発を含む) → 自施設診療を開始したとき - がん患者が死亡したとき (罹患時に届出を行っている場合を除く)	届出票記載についての注意 P.3 ◆ 届出票にご記入、提出していただくタイミング - 自施設もしくは他施設で当該新生物の診断後、自施設で初回治療を開始した症例の場合や他施設で当該新生物の初回治療を開始した後、自施設で初回治療の継続を行う場合。自施設で診断のみ行った場合も含む。 - 一連の初回治療が終了した時点 - 検査・治療のために他院に紹介した時点 - 他施設で初回治療が完了した後、自施設で当該新生物に関わる診療をした場合 (再発を含む)。 自施設診療開始の時点 ◆ 多重がんの場合は、<u>それぞれのがん (原発部位) ごとに届出票を作成し提出</u>ください。 ※ 症例 1 名 1 件ではなく、1 新生物 (がん) ごとに 1 件として集計します。	(変更及び追加)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
届出票記載についての注意 P.3 ◆ <u>ご記入いただくにあたり、ご留意いただくこと</u> 1. <u>様式は、福岡県地域がん登録に関する情報のホームページからダウンロードしてお使い下さい。様式に必要事項を入力し、印刷してご提出いただくことも可能です。</u> http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/chiikigan.html 2. <u>手書きの場合は楷書で、黒インクまたは黒のボールペンにてご記入下さい。</u> 3. <u>必須項目をはじめ、漏れなくご記入いただきますようお願いいたします。選択肢では、該当する番号に○をお付けください。「不明」の場合は、その旨ご記入をお願いいたします。</u> 4. <u>診断日についてはがん登録特有のルールがありますので、記載要領を必ずご確認ください。</u> 5. <u>「部位」・「病理診断名」などについては、参考資料をご参照ください。</u>	届出票記載についての注意 P.3 ◆ご記入いただくにあたり、ご留意いただくこと。 1. 記入の際は楷書で、黒インクまたは黒のボールペンにてご記入ください。 2. 必須項目をはじめ、漏れなくご記入いただきますようお願いいたします。選択肢では、該当する番号に○をお付けください。「不明」の場合は、その旨ご記入をお願いいたします。 3. 診断日についてはがん登録特有のルールがありますので、記載要領を必ずご確認ください。 4. 「部位」・「病理診断」・「病巣の拡がり」などについては、参考資料をご参照ください。	(追加) (修正) (追加)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.4 姓・名（漢字） 姓と名を別々に漢字表記（楷書）で記入。重複登録を防ぐ大事な項目のため、イニシャル、カタカナ等の略記は避け、本名を記入。ただし、漢字表記できない外国名の場合はカタカナ表記とします。 性別 性別について、該当する番号を○で囲んでください。	各項目の記載要領 P.4 姓・名（漢字） 姓と名を別々に漢字表記で記入。重複登録を防ぐ大事な項目のため、イニシャル、カタカナ等の略記は避け、本名を記入。ただし、漢字表記できない外国名の場合はカタカナ表記とします。 性別 性別について、該当する番号を○で囲んでください。 手術や薬物などで性転換している場合などは「3他」を○で囲んでください。	（追加） （削除）

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.4 診断名 側性：左右 原発部位が両側臓器（肺・乳房等側性のある臓器）の場合のみ該当する番号を○で囲んでください。「両側」は卵巣・腎芽腫（ウィルムス腫瘍）・網膜芽細胞腫のいずれかで、<u>左右同時に腫瘍が認められた場合のみ選択可能です</u>。その他の側性を有する臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入ください。一方が他方の転移の場合は、<u>原発側のみ届出票を作成してください</u>。原発側が判断されない場合は左右は「不明」とします。	各項目の記載要領 P.4 診断名 側性：左右 原発部位が両側臓器（肺・乳房等側性のある臓器）の場合のみ該当する番号を○で囲んでください。「両側」は卵巣・腎芽腫（ウィルムス腫瘍）・網膜芽腫に<u>用い</u>、同時に左右に腫瘍が認められた場合のみに選択可能。その他の側性を有する臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入ください。一方が他方の転移で、<u>原発側が判断されない場合は「不明」とします</u>。	(修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.4 診断名 部位 腫瘍の原発部位を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位（例：「肺左上葉」、「結腸脾弯曲部」等）を記入してください。 転移性がんの場合は、<u>原発臓器</u>（例：食道がんの肺転移の場合は、転移部位の「肺」ではなく、「食道」）を記入し、<u>原発が不明な場合は「原発不明」とします。</u> 白血病の場合、診断部位は「<u>骨髓</u>」とし、病理診断名に「急性骨髄性白血病M2」等と記入。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変の部位とし（例：胃の悪性リンパ腫の場合は、「胃」を記入）、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入。がん登録では、「国際疾病分類一腫瘍学(ICD-0)」を用いるのが世界基準のため、登録室では原発部位情報をICD-0-T (Topography:局在部位) に基づいてコーディングしています。	各項目の記載要領 P.4 診断名 部位 腫瘍の原発部位を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位（例：「肺左上葉」、「結腸脾弯曲部」等）を記入ください。 転移性がんの場合は、<u>原発臓器</u>（例：食道がんの肺転移の場合は、転移部位の「肺」ではなく、「食道」）を記入し、<u>原発が不明な場合は「原発不明」とします。</u> 白血病の場合、診断部位は「<u>骨髓</u>」とし、病理診断名に「急性骨髄性白血病M2」等と記入。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変の部位とし（例：胃の悪性リンパ腫の場合は、「胃」を記入）、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入。がん登録では、「国際疾病分類一腫瘍学(ICD-0)」を用いるのが世界基準であり<u>（2009年現在第3版）</u>、登録室では原発部位情報をICD-0-T (Topography:局在部位) に基づいてコーディングしています。	(修正) (修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.4 診断名 病理診断名 腫瘍の<u>病理診断名</u>について、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入ください。<u>可能な範囲で、腫瘍の形状、腫瘍の性状(悪性、上皮内、良性、良悪不詳等)、及び分化度(高・中・低・未分化) / リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原(T-cell、B-cell、Null-cell)等を詳細に記入して下さい。</u>登録室では病理診断名をICD-O-M (Morphology : 形態) を用いて6桁の数字でコーディングしています。 ・ <u>治療前の生検による診断</u>と術後病理診断が異なる場合は、術後病理診断を優先して記入ください。 ・ 他施設で病理診断(組織診・細胞診)が実施された場合、わかる範囲で記入ください。	各項目の記載要領 P.4 診断名 病理診断名 腫瘍の<u>病理組織を</u>、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入ください。<u>病理報告に記入されている組織型を完全に記入するなど、腫瘍の形状、腫瘍の性状(良性、良悪不詳、上皮内、悪性、等)、及び分化度(高・中・低・未分化) / リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原(T-cell、B-cell、Null-cell)等を全て含む事が望ましい。</u>登録室では病理診断名をICD-O-M (Morphology : 形態) を用いて6桁の数字でコーディングしています。 ・ <u>生検と術後病理診断</u>が異なる場合は、術後病理診断を優先して記入ください。 ・ 他施設で病理診断(組織診・細胞診)が実施された場合、わかる範囲で記入ください。	(修正) (修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.4 診断情報 初発・治療開始後 初発、治療開始後・再発を区別するための項目です。該当する番号を○で囲んでください。 1.初発：自施設において当該腫瘍の診断や初回治療を実施した場合、<u>あるいは他施設で診断され自施設で初回治療を実施した場合</u> 2.治療開始後・再発：他施設で<u>の初回治療を引き継いだ場合、あるいはそれが完了した患者を診療した場合</u>（再発を含みます）。	各項目の記載要領 P.4 診断情報 初発・治療開始後 初発、治療開始後・再発を区別するための項目です。該当する番号を○で囲んでください。 1.初発：当該腫瘍の診断かつ/もしくは初回治療が自施設において実施された初発（治療開始前）の患者。 2.治療開始後・再発：他施設で当該腫瘍の初回治療を開始した<u>後、あるいはそれが完了した後に来院した患者</u>（再発を含みます）。	(修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.5 診断情報 診断根拠 <u>当該腫瘍の確定診断において、初診時だけでなく、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定せず、他施設における診断情報も含む）。</u>該当する検査番号の一番小さい方（番号）を優先して○で囲んでください。複数回答も可。 （略）	各項目の記載要領 P.5 診断情報 診断根拠 <u>当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定しない。他施設における診断情報も含む）。</u>該当する検査番号の一番小さい方（番号）を優先して○で囲んでください。複数回答も可。 （略）	（修正）

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.5 診断情報 自施設診断日 自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入してください。 <u>診断根拠で1～3を選択：検体採取日</u> <u>診断根拠で4～5を選択：検査日</u> <u>診断根拠で6を選択：入院日または初診日</u> 前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、<u>自施設の当該腫瘍初診日</u>を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、<u>死亡日</u>を自施設診断日とします。<u>いずれの場合でも必ずご記入下さい。</u>西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。年月日まで記入ください。	各項目の記載要領 P.5 診断情報 自施設診断日 自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入 <u>（①原発巣の組織診検体採取日 > ②転移巣の組織診検体採取日 > ③細胞診検体採取日 > ④腫瘍マーカー検体採取日 > ⑤臨床検査日 > ⑥臨床診断日の順で優先）。</u> 前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、<u>自施設の当該腫瘍初診日</u>を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、<u>死亡日</u>を自施設診断日とします。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。年月日まで記入ください。	(修正) (追加)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.5 診断情報 初回診断日 前医・他施設において、再発・治療後など、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において初発時の当該腫瘍の初回治療前に”がん”と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入（例：4月上旬、4月頃、春頃、<u>2013</u>年頃等）。検査日等が不明の場合は、「腫瘍のための入院日」「外来のみでは腫瘍のための初診日」などを診断日として記入ください。	各項目の記載要領 P.5 診断情報 初回診断日 前医・他施設において、再発・治療後など、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において初発時の当該腫瘍の初回治療前に”がん”と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入（例：4月上旬、4月頃、春頃、<u>2009</u>年頃等）。検査日等が不明の場合は、「腫瘍のための入院日」「外来のみでは腫瘍のための初診日」などを診断日として記入ください。	(修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.5 診断情報 発見経緯 当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です、番号を○で囲んでください。 「1 がん検診」：がんの早期発見・早期治療を目的とした、一連の定型的な検査を行った場合。 (略)	各項目の記載要領 P.5 診断情報 発見経緯 当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です、番号を○で囲んでください。 1.がん検診：がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合。 (略)	(修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.5 病期 病巣の拡がり 病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、無ければ治療前の進行度を用います。ただし、<u>腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法等を施行の後、手術（体腔鏡的・内視鏡的手術を含む）を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。再発では記載不要です。番号の大きいほうを優先します。</u> <u>※白血病や造血器腫瘍では、空欄でも可とします。</u> (略)	各項目の記載要領 P.5 病期 病巣の拡がり 病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、無ければ治療前の進行度を用います。ただし、<u>腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法等を施行の後、手術（体腔鏡的・内視鏡的手術を含む）を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。再発では記載不要です。番号の大きいほうを優先します。</u> (略)	(追加)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.6 病期 その他 深達度、腫瘍径等、病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば<u>100字程度に要約して記入してください。</u>	各項目の記載要領 P.5 病期 その他 深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば<u>記入ください。</u>	(修正)

福岡県地域がん登録届出票記入要領 新旧対照表

平成27年1月

新	旧	備考
各項目の記載要領 P.6 病期 観血的治療を総合した治療結果 当該腫瘍に対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入。初回治療として行った総合的な結果に該当する番号を○で囲んでください。 (略)	各項目の記載要領 P.6 病期 観血的治療を総合した治療結果 当該の<u>がん</u>に対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入。初回治療として行った総合的な結果に該当する番号を○で囲んでください。 (略)	(修正)